平成28年度第1回富里市総合教育会議議事録

日 時 平成28年6月30日（木）

午後3時30分～午後4時15分

場 所 市役所本庁舎3階第3会議室

1 開 会

（総務部長）

定刻となりましたので、これより平成28年度第1回富里市総合教育会議を開会いたします。

本日の会議は、お手元に配布させていただきました会議次第に沿って進めさせていただきます。

始めに、市長よりごあいさつをいただきたいと思います。

よろしく願いいたします。

2 あいさつ

（市長）

本日は、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

本年度第1回目の総合教育会議ということで、武井委員長をはじめ、各委員の皆様方に御出席をいただきまして、ありがとうございます。

今日、インターネットを見ていて、ちょっと興味深いものを目にしました。ビートルズに関するものです。その当時、小学校や中学校の朝礼でこう言ったそうです。「ビートルズを聴いてはいけません。長髪スタイルで演奏するなど、不良のすることです。」私は、これを読んで、大人と子供の考えの違いを感じました。

私は、この会議を開催する意味の一つとして、教育とは子供たちに教えるだけのものとならず、子供たちが理解できるものとなるような教育がなされるよう望んでおります。

（総務部長）

ありがとうございました。

続きまして、武井委員長よりごあいさつをお願いいたします。

（教育委員会委員長）

皆様方、お忙しいところ御苦勞さまでございます。私からも一言ごあいさつさせていただきます。

市長におかれましては、公務御多忙にもかかわらず、総合教育会議を開催いただきまして、誠にありがとうございます。

新たな教育委員会制度の移行に係る法改正施行後に開催されることとなった本会議も今回で3回目を迎え、会議の主旨の一つである教育行政の事務に関する市長と教育委員会の協議・調整による連携強化も、以前にも増して更に強固なものへと着々と進展していると感じております。

本日は、本市教育委員会が抱える喫緊の課題である洗心小学校の統廃合に関する現状と今後について、また、認定こども園の開園を含む幼・保連携についての二つが大きな議題とされております。

我々委員は、会議の中で、忌憚のない建設的な意見を交換させていただくことで、これらの課題に対し遺漏のないよう進めてまいりたいと考えます。

市長におかれましても、引き続き本市における教育行政を総合的に推進していただけますようお願い申し上げます。

本日は、よろしく願いいたします。

(総務部長)

ありがとうございました。

それでは、議事の進行につきましては、会議の主催者であります市長にお願いいたします。

3 協議事項

(市長)

それでは、協議事項に入ります。

協議事項(1)洗心小学校と富里南小学校の統廃合について、御説明をお願いいたします。

(教育委員会教育長)

それでは、私のほうから説明させていただきます。

資料1の1を御覧ください。

初めに、洗心小学校と富里南小学校の統廃合についての概要を説明させていただきます。

洗心小学校については、平成29年4月の富里南小学校との統合に向け関係者と協議を進め、統合がスムーズに行えるよう準備しております。

洗心小学校統廃合対策協議会については、隔月で開催を予定しており、5月21日に開催した洗心小学校統廃合対策協議会では、前年度に引き続き地元要望を伺ったところです。今後も地元要望のほか、閉校準備や学校統合後の対応などについて協議を行ってまいります。

また、施設の維持管理や跡地利用はまだ決定しておりませんが、洗心小学校の歴史等が残るようにすることや跡地の有効活用などについても引き続き地元の要望を伺ってまいります。

次に、裏面を御覧ください。

現在までの進捗状況と今後の予定についてでございます。

1 洗心小学校統廃合対策協議会関係についてです。

まず、地元要望につきましては、スクールバスの運行や跡地利用などについて要望を取りまとめています。また、地域づくり協議会モデル事業補助金制度を活用しまして、地域課題の解決に向けた意見交換などについて実施する予定です。こちらにつきましては、既に300,000円の交付決定を受けています。

次に、平成28年度洗心小学校統廃合対策協議会は、先ほど申し上げましたとおり、5月21日の土曜日に開催いたしました。

協議内容は、スクールバスの運行、スクールカウンセラー、交流事業、施設の維持管理などについてです。

次回は、7月30日の土曜日に開催する予定です。以後、隔月としまして、9月、11月、1月、3月に開催する予定となっております。

続きまして、2 洗心小学校関係についてです。

富里南小学校との交流学習の実施につきましては、資料1の2、1の4、1の5と、このような内容で行っております。学校の年間計画により実施しまして、保護者には富里南小学校についての学校説明会も行います。

また、閉校記念事業については、資料1の3のとおりとなっております。こちらは、実行委員会会長を中心に取り組んでまいります。洗心小学校閉校記念事業実行委員会の予定では、閉校記念式典は平成29年3月25日の土曜日となっております。

なお、洗心小学校統合事業補助金は1,500,000円とし、当初予算で予算化しております。

また、洗心小学校には各種備品がありまして、これらは閉校することに伴い、今後、市内の小中学校からの要望を取りまとめた上で配分して活用していくこととしております。

次に、3 保護者要望についてです。

現在、スクールバスの停留所等についての要望を確認しておりまして、今後、極力要望に沿うように対応してまいります。また、統合に当たりまして、富里南小学校で使用する体操服等を支給することとしております。

次に、4 跡地利用についてです。

現在、施設の維持管理や跡地利用については未定となっておりますが、体育館

は引き続き社会体育などの利用は行われます。

地元意見に配慮した上で、有効活用を図れるよう協議を継続していきます。

次に、5 議会等への対応についてです。

富里市立小学校設置条例の一部改正を 12 月議会に上程する予定です。これは、洗心小学校の閉校に伴い、一覧表から洗心小学校の名称を削除するものです。

次に、6 その他です。

富里市立小学校及び中学校の就学区域に関する規則について、この度の統廃合に伴いまして、一部改正を行う必要がございます。こういったことから、富里市就学区域審議会の開催を予定しています。

また、洗心小学校の統合による影響についての庁内調査を実施しました。現在、取りまとめた内容を精査しているところでございます。

以上でございます。

(市長)

ありがとうございました。

この件は、ただいま御説明いただきました、これまでの取組、また、これからの取組につきまして、地域の理解と協力を得ながら、児童や父兄の方々が、安心して来年度からの新学期を迎えられるよう進めていただきたいと思います。

また、洗心小学校の閉校による、跡地の活用につきましては、地域の方々の意向を十分に取り入れた活用を図ることが必要と思っております。ついては、教育委員会と一丸となり、活用に向け今後の検討を進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いたします。

ここで、現時点での跡地利用の案があるようであれば、願いたします。

(教育委員会教育長)

教育委員会としては、あくまでも地元の要望などをお伺いしているものであります。また、こういった要望から活用案を検討していることもなく、こちらから地域の方々に案を示すといったこともしてはおりません。

(市長)

それでは、協議事項(2)幼稚園、保育園及び認定こども園による幼児教育、保育の在り方と連携についてでございます。

当事項につきましては、向台幼稚園の認定こども園化に向けた設備工事を進めていますことから、本事業の進捗状況について担当より説明させていただきます。

では、願いたします。

(健康福祉部長)

お手元にお配りさせていただいております資料に基づいて、御説明申し上げます。

ます。

まず、資料2の1でございます。

こちらは、(仮称)向台こども園の施設計画をまとめたものでございます。

現在建築しております増築棟は、資料左上の鳥かんイメージの中央、駐車場と隣接する位置に建築しております。既存の園舎と増築棟がコの字型に配置され、駐車場と園庭を区分することにより、安全な環境を造っていきます。

完成いたしますと、園児は駐車場から新しい職員室前の全面を屋根で覆われました「おむかえひろば」を通りまして、園舎へ入っていく形となります。

室内のイメージでございますが、資料右下にありますように柱や梁をそのまま見せ、床についても無垢材を使用して、温かみのある空間とする計画でございます。

既存園舎の改修につきましては、ホール北側にあります、現在の園長室や職員室の部分を改修いたしまして、調理室、2歳児保育室などを設けることとしております。

グラウンドにつきましては、暗渠配水管を設置し、地下貯留施設を設けることによりグラウンド環境の改善を図ります。

続きまして、資料2の2を御覧ください。

先週、6月20日現在の現場の写真でございます。

上の写真が増築棟の外観です。外周部分に足場が組まれている状況でございます。

下の写真は、園児が登園の際に駐車場から入ってくる「おむかえひろば」から子育て支援センターとなる部屋を写したものでございます。

続いて、裏面を御覧ください。

こちらは、駐車場側から「おむかえひろば」を写したもので、奥側が既存園舎となります。

最後の写真が、同じく駐車場側から職員室方向を写したものになります。

手前が職員室で、奥が0歳児、1歳児室となります。

続きまして、資料2の3を御覧ください。

非常に細かい印字で見づらいところもございますが、御容赦願います。

工事の総合工程表になります。全体の工期は12月末までとなっております、9月末で増築棟が完成し、その後既存棟の改修に移る計画でございます。

また、グラウンドの工事につきましては、7月末頃から8月の夏休み期間を利用し工事を行うことになっております。

5月末の工事の進捗率でございますが、計画では34%のところ28%で、2週間程度の遅れがございましたが、その後の工事はおおむね順調に進んでおりま

して、6月末では計画通り50%程度となる見込みでございます。

5月28日に上棟を行い、柱の傾きや金物が設計どおりに取り付けられているかを確認する建方検査を、6月9日に実施いたしました。

現在は、先ほどの写真にもありましたように、サッシが取り付けられ、増築棟の屋根工事もほぼ完了し、内部の工事が行われております。今後、床工事や内装工事が進んでいく予定となっております。

説明につきましては、以上でございます。

(市長)

ありがとうございます。

ただいま担当より御説明させていただきました。

何か御質問、御意見等ございましたらお願いいたします。

(出席者一同(教育委員会))

意見等なし。

(市長)

それでは、本日の協議事項は以上となりますので、これにて協議を終了し、進行を事務局にお返しします。

4 その他

(総務部長)

ありがとうございます。

それでは、会議次第4その他でございますが、何かございましたらお願いいたします。

(教育委員会教育長)

いくつか発言させていただきます。

まず、一つ目は情報の提供をさせていただきたいと思っております。

6月22日付けの新聞記事でございますが、非常に重要な内容と思っております。ことから発言させていただきます。

こちらの記事を読ませていただきます。

タイトルは、園児の能力、小学校へ報告ということでございます。

文部科学省は21日、小学校入学前の子供が身に付けてほしい資質や能力に、自立心、数学・図形などへの関心など10項目を挙げ、これらを幼稚園が評価し、小学校に伝える新制度を導入する方針を決めた。同日開かれた中央教育審議会の部会に示し、了承された。小・中、高校の学習指導要領に当たる、幼稚園教育要領を改定し、2018年度から実施する。

3から5歳児の発達状況については、健康状態や言葉の表現力などを幼稚園

が指導要録に記録し、小学校に提出している。だが、遊び中心の幼児教育から教科学習重視の小学校への環境変化に対応するには不十分との声があがっていた。

新制度では、幼児期の終わりまでに育ててほしい資質や能力に、自立心、道徳性・規範意識の芽生え、社会生活との関わり、思考力の芽生え、数量・図形、文字等への関心・感覚など10項目を挙げ、これらが身に付いた状況を小学校に伝える。

例えば、数量・図形、文字等への関心・感覚では、遊びや生活の中で、数量などに親しむ経験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、必要感に応じて活用する能力などが評価される。

具体的な評価方法は今後検討するが、文部科学省では他の幼児との比較や達成度による評価はしないとしている。

ただいま申し上げましたとおり、2018年度から実施するということではありますが、今後、幼稚園は小学校に対し、このような報告がなされる必要が生じます。

また、6月の中旬に家庭教育学級の視察研修がありまして、山武市の「しらはたこども園」への視察に同行させていただきました。そこで、私から園長先生にお聞きしたこととして、こども園において、いわゆる長時間組、保育園として保護者の就労等に合わせて保育を受ける子供と、短時間組、従来の幼稚園として利用する子供に対し、どのように教育を行っているかを伺ったところ、従来の幼稚園における時間部分については、区分せずに幼稚園としての教育を実施しているということです。なお、この従来保育を行ってきた先生方は、相当程度の事前の準備期間において、研修を受講するなどの準備があって開園に臨んだということでした。今でも、より良い教育・保育を実施していくため、大学の先生の指導を受けながら、常に指導内容を見直しているそうです。この視察のときも、大学の先生がこられていて、子供たちや先生方の一日の様子を見て記録されていました。

これからの本市においては、先ほど御説明いただきましたとおり、認定こども園としての施設は着実に完成に向け進めておられますが、園においてより良い教育・保育を行っていくに当たりまして、教育・保育内容の充実のため開園前の準備が大切であると、私自身考えております。

今日は御担当されている職員の方も御出席いただいておりますことから、現在のいわゆるソフト面における取組などを、お聞かせいただけますでしょうか。

(健康福祉部長)

私どもで取り組んでおります内容について御説明させていただきます。

認定こども園化として、保育・教育計画等を定めた上で認可を受けることとなります。この計画につきましては、幼稚園教諭と保育士が協議し、策定しているものです。また、これまでの取組などの詳細は担当課長より御説明させていただきます。

(子育て支援課長)

私から御説明させていただきます。

昨年度から2年間に渡り、認定こども園の認可に必要な富里市の教育・保育計画の策定作業を進めておりました。現在、素案ができあがったところでございます。今後、この素案を子ども・子育て会議に諮ってまいります。

また、葉山保育園では、教育を取り入れて小学校につなげていくということで、平成24年度から、教育を取り入れた保育を行っております。2018年度から実施することとなる新制度において、幼児が身に付けた資質や能力を小学校に報告する必要があることは承知しておりました。事前の準備としまして、保育に教育を取り入れていくといった取組を進めております。また、保育園における保育士、幼稚園における幼稚園教諭を対象に、認定こども園化に向けた研修会をそれぞれの園内部などで実施しているところであります。大学の先生などからの専門的な指導を受け進めているところでございます。一方で、子ども・子育て会議の構成員につきましても、学識経験者として大学の名誉教授に参加していただき進めているところでございます。

(教育委員会教育長)

ありがとうございました。

(総務部長)

ほかにごございますでしょうか。

(教育委員会委員)

私からもよろしいでしょうか。

(総務部長)

お願いいたします。

(教育委員会委員)

本市では、幼児教育の質的向上を目指し、幼稚園と保育園の人事異動により交流が図られてきたことと思います。また、来年度からの認定こども園化に向けた研修が行われていることなどを知り、私自身安心させていただきましたが、研修の実施について、幼稚園教諭に対する保育の研修、保育士に対する教育の研修をそれぞれ実施するのではなく、区分せず共通した内容となる研修を行うこともよろしいのかなと思います。また、担当課長より御説明いただきました現在策定中の計画においても、幼児への教育、保育に関する研修の実施が計画

的に生まれ、どの先生方も受講できる体制を整えていただくことにより、先生方を支えていただくことは、幼児教育・保育の向上につながるものと思いますので、よろしく願いいたします。

(子育て支援課長)

研修の実施につきまして、市内の公立の保育園、幼稚園のそれぞれの現場で、保育園では教育について、幼稚園では保育についての研修を昨年度1年間かけて実施してまいりました。来年度から認定こども園化する向台幼稚園の教諭に限定することなく、また、葉山保育園の実際の現場において保育に携わるといった内容を取り入れ実施してまいりました。今年度は、学校教育課の指導主事からの指導を受けるといった研修を毎月1回程度実施するといった研修計画に基づき行っております。なお、このほかに外部講師を招いての研修や現場での実地研修も引き続き実施していきたいと考えております。

(教育委員会委員)

ありがとうございました。

(総務部長)

ほかにございますでしょうか。

(教育委員会教育長)

よろしいでしょうか。

(総務部長)

よろしく願いいたします。

(教育委員会教育長)

本会議の今後の協議事項の提案につきまして、各教育委員より発言させていただきたいと思っております。

(教育委員会委員)

英語教育の充実として提案させていただきたい事項がございます。

英語検定の受験費用の一部又は全額補助について検討をお願いしたいと思っております。既に実施している自治体もあり、この補助を実施したことにより受験者数が増えているとのことです。子供たちにとりましても、英語検定の資格を有することによる自信にもつながるものと思っておりますので、協議いただければと思います。

(教育委員会委員長)

先ほど市長から、洗心小学校の跡地活用を教育委員会と一丸となって進めていきたいとの御発言がございました。現在は、教育委員会が主体となり学校の統廃合に向けた協議を進めておりますが、今後の活用に向けた取組を進める体制づくりを検討していけたらよいと思っております。教育委員会と市長部局との連携、

関わりを協議事項として話し合っていたらよいと思います。

教育委員会としては、学校の統合までを行い、閉校後の跡地活用は市長部局にバトンタッチするのではなく、跡地が有効に活用されるまで教育委員会が関わっていく体制とするべきであり、この連携がより良い跡地活用につながるものと思っております。

(教育委員会委員)

以前のこの会議の協議事項として教育委員会より取り上げていただきました、小・中学校へのエアコンの設置について、今後の具体的なスケジュールの検討などをお願いしたいと思います。

(教育委員会委員)

不登校対策についてです。本市では、不登校がなかなか解決に至らず、減少できていないことが大きな課題としてあるものと思っております。現在、ふれあい教室を図書館に開設しております、学校教育課の指導主事の先生方や担当の先生方は、この問題対応に苦慮されています。本市での不登校の原因は、いじめなどの学校内の問題だけでなく、家庭内の問題を抱え不登校となるケースが多いと聞いています。こういった状況では、学校や教育委員会だけでは対応が難しいことから、子育て支援課や子ども課の方々の協力をいただくといった、教育委員会と市長部局が連権を図り、不登校問題解決に向けた取組が必要だと感じております。

つきましては、これからの連携の取り方などについて協議をお願いしたいと思います。

また、現在のふれあい教室は図書館に設置しておりますが、このふれあい教室と教育委員会を旧保健センターに移設することにより、学校教育課の指導主事の先生方との連絡を取り易くすることで連携を深め、より効果的な取組につながるものと考えられますことから、旧保健センターへの移設を検討いただければと思っております。

(教育委員会委員長)

ただいま、委員より教育委員会等の移転の話がございましたので、恐れ入りますが、この場をお借りいたしまして市長にお願いさせていただきます。

繰り返しになりますが、現在のふれあい教室と教育委員会が離れた場所にありますので、これらを一か所に集積できればお互いの機能がアップするものと思います。ただし、この移転には費用がかかりますことから、財政に負担をかけることは承知していますが、一刻も早く移転を検討していきたいと思っておりますので、お願いいたします。

(市長)

この移転の話は以前よりあることとして承知はしています。ただし、委員長
の御発言のとおり、費用が発生するものでありますから、教育委員会、ふれあ
い教室を移転するに当たり、旧保健センターの改修、移転に係る費用や業務の
スケジュール等を勘案した計画が必要となります。ついては、こういった計画
をもって、今後、検討させていただきます。費用については、予算編成の中で
計画的に組んでいかなければならず、このような会議での判断はできず、また、
財政担当との協議を要することを御了承ください。

(教育委員会委員長)

今後、教育委員会事務局と財政課等との協議、計画をしていきたいと思いま
す。

(教育委員会教育長)

私からも、一つ、今後の協議事項として取り上げていただければということ
で発言させていただきます。

毎年度策定しております教育プランに基づいて各種事業を展開しております。

現在、各事業実施内容の検証をしております。その中で生涯学習事業の充
実といった課題が挙がってきております。そこで、市長にこの事業の現在の状
況を御理解いただくとともに、教育委員会としての今後の取組について説明さ
せていただきたいと思いますと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(総務部長)

ほかにございますでしょうか。

(健康福祉部長)

私から、よろしいでしょうか。

(総務部長)

よろしく願いします。

(健康福祉部長)

先ほど不登校対策について御発言がございましたことから、私からこの件に
つきまして発言させていただきたいと思えます。

この不登校対策でございますが、市長部局におきましては健康福祉部が対応
しております。子育て支援課が中心となり、要保護児童対策地域協議会を設置
しております。なお、関係課等としまして、教育委員会からも構成メンバーと
して参加いただき組織しております。この協議会につきましては、定期的な会
議の開催や個別の案件に対する対策も講じているところでございますことから、
今後のこの会議におきまして、この協議会の取組状況等を御報告できればと思
いますので、よろしく願いいたします。

(総務部長)

ほかにございますでしょうか。

(出席者一同)

意見等なし。

(総務部長)

それでは、ただいま御意見いただきました事項等は、次回あるいは今後の会議での協議事項として調整させていただきまして、日程につきましても併せて調整させていただきますので、よろしくお願いいたします。

5 閉会

(総務部長)

以上をもちまして平成28年度第1回富里市総合教育会議を閉会させていただきます。

本日は、どうもありがとうございました。